

令和6年11月27日

津久見市観光協会
理事・監事・会員 各位

津久見市観光協会事務局

令和6年度（2024年度）津久見市観光協会 第3回理事会 審議結果

以下のとおり、第3回理事会の審議結果を報告します。

本理事会は、「今後の観光協会組織の方向性」、「プロモーション」、「催事（イベント）」等について会長が諸課題を提起する中で、理事・監事から多くの意見をいただいたところです。なお、内容については要旨を抜粋し、発言内容のみを簡潔に記載しています。

日 時：令和6年（2024年）11月22日（金）15時～16時05分

場 所：津久見市役所 大会議室

出席者：理事・監事総数23名、出席者18名、委任状提出者5名

1. 会長あいさつ

- ・7月就任後に会員や市民の方々と話す中で、津久見市観光協会の知名度・認知度、また期待値が低いと感じた。協会組織や活動が時代に即しているのか、観光についての議論が足りているのか等の課題があるのではないかと。協会会員・市民・来訪者への向き合いを整理・再考する必要があると思う。

2. 協議事項

（1）今後の観光協会組織の方向性について

冒頭に、「第2期津久見市観光戦略」の概要説明があり、その中で、計画期間の令和8年度までに、現行の観光協会組織の法人格取得についても触れる。その後、津久見市観光の現状や課題、法人各取得などについての意見を求めた。

- ・SNSでの情報発信、点を線で結ぶ観光ルート（海風音楽庵（伊勢正三さん）、つくみ昭和レトロなども含めた。）、集客イベント（大規模なものはあるが）の3点がポイント。
- ・まちづくり団体の横のつながりが少ない気がする。市民同士がつながる機会が少ない。商店街に人が歩いていない。つくみ公園と商店街に人が集まれば盛り上がる。
- ・県南地域は、県の施策である「おんせん県おおいた」の恩恵を受けていない。食の連携が必要
- ・イルカ島は、海洋教育のといった観点からも貢献できればと考えている。宿泊地である別府・大分から、臼杵・津久見・佐伯を線をつないだ観光ルートが必要
- ・情報発信の効果検証が出来ていない。また、基本的な情報だけではなく、来訪意欲をあおるような情報を発信すべきが出来ていない。例えば、河津桜には多くの来訪があり、来訪者に情報発信をしてもらい、お金を落とす仕組みをつくる必要がある（花火大会も出来ていないが…。）
- ・臼杵市も法人化したがるが、観光に関係していない方からは意見が出てこないで理事構成を変更した。
- ・津久見市にあるもので日本一の「石灰石鉱山」は魅力であり集客力も高いと思う。

※理事・監事からの発言終了後、会長から、課題である「観光情報発信」、「観光関連組織のあり方（法人格取得含む）」についての部会（ワーキンググループ）を年内に設置したい旨を提案し全会一致で承認

（その後、「令和8年度の法人化を目指すのか」との質問があり、部会を設置し調査検討を行い、時間は少ないが、令和7年度を経て令和8年度の法人化を目指す予定である旨を説明）

（2）新規加入会員について

令和6年度総会（令和6年7月1日（月）開催）から10月末日までの新規会員「美容室 アトリ エグレイス」、「つくみ昭和レトロ 満英館」、「たこ梅」の3会員の加入について全会一致で承認

3. 意見交換

会長が、以下についての提起を行った。

- ・新規プロモーション案として、春→河津桜、夏→花火大会、秋→みかん、冬→モイカと津久見の資源は季節の始まりであり、「季節のはじまりは いつも津久見から」といったフレーズで新たなプロモーションを打ち出せないか。
- ・催事（イベント）が時代にあっているのか。（モイカフェスタの手法の見直し、河津桜が年間通じて守られているか、などの課題を提起）
- ・扇子踊りについて、同じく大友氏に關係する「鶴崎踊」は国指定（国の無形民俗文化財）、素晴らしい踊りである「津久見扇子踊り」は県指定（大分県無形民俗文化財）であり、津久見扇子踊りも、市・教育委員会と連携し国指定を目指した取組を行いたい。（※出席者の賛同を得る。）
- ・理事／会員への連絡について、郵送・訪問しての配付から、メール・ラインに切り替えたい。（※理事会終了後、各理事・監事のメールアドレスを記載した用紙を事務局に提出）
- ・観光案内所機能の向上を目指したい。

以下は、会長の提起についての意見

- ・青江ダムで山桜まつりを実施してきたが、植樹や桜の管理が地区住民だけでは対応が難しくなってきた。（若い方は、仕事の都合などで参加できないことが多い。）
- ・河津桜の期間中は、桜を見た後に市内に立ち寄っていない。商店街や市中心部でのイベントが必要
- ・四浦半島の河津桜、青江ダムの山桜、保戸島のソメイヨシノなど、桜観光実行委員会を組織し対応している。行政主導ではなく、地域住民や関係団体と連携した取組を行っている。

以上の内容にて16時05分閉会したが、会議時間を1時間程度と設定した中で、出席の理事・監事から多くのご意見をいただいた。この内容については、会員の皆様へ適切にお伝えし、ご意見等を賜りたいと考えている。

また、本理事会で承認を得た、「観光情報発信」、「観光関連組織のあり方（法人格取得含む）」を検証・調査するための部会（ワーキンググループ）設置については、別紙のとおり部会への参加希望者を募集することとした。会員各位の積極的な参加をお願いしたい。